

2024年2月14日
日の丸交通株式会社

日の丸交通株式会社、日本最大規模のTeslaスーパーチャージャーを導入
UberプレミアムEV専用車両の充電インフラを強化し、環境に優しい移動サービスを提供

日の丸交通株式会社（以下、日の丸交通）は、2024年2月14日（水）10時から、世田谷営業所において、Tesla Motors Japan 合同会社（以下、Tesla Japan）の高速充電ソリューション「スーパーチャージャー」を日本最大規模となる12基の運用を開始します。これにより、Uber Japan 株式会社（以下、Uber Japan）が展開するオンラインハイヤー配車サービス「UberプレミアムEV」における「Tesla Model Y」車両の充電インフラが大幅に強化されます。また、一般のTeslaオーナーの皆さまにもご利用いただけます。

日の丸交通は、2023年7月にUber JapanとTesla Japanとの協業により、UberプレミアムEV専用車両として、計100台のTesla Model Yを東京23区内で展開することを発表しました。この取り組みは、日本国内のタクシー・ハイヤー業界で初めてのもので、電気自動車（EV）の普及により、カーボンニュートラルの実現に貢献するとともに、プレミアムなサービスの向上を目指しています。その第一弾として、2023年11月に30台のTesla Model Yが日の丸交通の世田谷区、江戸川区、足立区の3箇所の事業所で配備されました。今後、タクシー業界におけるEV導入やEV活用のノウハウを持つ三菱オートリース株式会社（以下、三菱オートリース）と協力しながら、日の丸自動車の無線グループの提携会社にも配備され、2024年中には車両台数が合計100台まで拡大する予定です。

今回、世田谷営業所にスーパーチャージャー12基を設置したことで、Tesla Model Yの充電時間や頻度を大幅に削減することができます。スーパーチャージャーは、約15分で275km走行分を充電することができる高速充電ソリューションです。これにより、Tesla Model Yの稼働率や利用率が向上し、UberプレミアムEVのサービス品質や顧客満足度が高まることが期待されます。

日の丸交通は、今後もUber JapanとTesla Japan、三菱オートリースとの協力を深め、ゼロエミッション車両の推進に努めてまいります。お客様のニーズに合わせた多彩な車両ラインナップで、お客様に安心・安全な移動をお届けすることを約束いたします。